

教科を越えて事象の本質を追究し、実践に生きる豊かな思考力を育む
—文理融合の視点で教科の学びをつなぎ「STEAM・STEAM⁺」を支える「協同的探究学習」—

主催 名古屋大学教育学部附属中・高等学校

ご案内

先生方におかれましては、ますます御発展のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校をご支援くださり、心より感謝申し上げます。本校では、2024 年度に SSH（スーパーサイエンスハイスクール）第 4 期文理融合基礎枠と科学人材育成重点枠（高大接続）に採択され、教育実践の開発に取り組んでまいりました。2026 年 7 月 3 日に、SSH 研究成果発表会を開催いたします。本校を長年にわたり指導してくださっている東京大学教授の藤村宣之先生のご講演と、授業公開と授業検討会を実施します。多くの方々のご来校を心よりお待ちしております。本校の教育実践に対して、皆様より忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

名古屋大学教育学部附属中・高等学校
校長 高井 次郎

開催日程 2026 年 7 月 3 日（金） 9：10～16：40（受付開始 8：40）

全体会	SSH 概要、協同的探究学習について	9：10 ～ 9：40
	藤村宣之先生（東京大学）の講演Ⅰ（40分）	9：45 ～ 10：25
第1部	公開授業（協同的探究学習）・授業検討会	10：40 ～ 12：35
	音楽, 理科, STEAM-1(総合的な学習の時間), 国語, 保健体育, データサイエンス, 地理総合, アカデミックライティング	
	屋食	12：35 ～ 13：40
	SSH プロジェクトポスター発表会	13：00 ～ 13：30
	データサイエンス作品展示	
第2部	公開授業（協同的探究学習）・授業検討会	13：40 ～ 15：50
	STEAM ⁺ , DEI サイエンス	
全体会	藤村宣之先生（東京大学）の講演Ⅱ（30分）	16：00 ～ 16：30

会場 名古屋大学教育学部附属中・高等学校（名古屋大学東山キャンパス西地区）
形態 対面
対象者 小学校・中学校・高等学校・大学の教員（非常勤講師を含む）、教育委員会関係者、
教員志望・研究者志望の大学生および大学院生
本校の保護者の皆様のご参加はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。
会費 無料
申し込み 2026 年 6 月 29 日（月）までに、本校ホームページの申し込みフォーム
方法 (<https://highschl.educa.nagoya-u.ac.jp>)、または、QR コードを読み取り、お申し込みください。



その他の日程のご案内 SSH 協同的探究学習指導法研究会（高等学校、中学校での実践紹介・検討）

- 第1回(オンライン) 7月24日(金) 多様な事象から規則性や原理を見だし、その根拠を自分の言葉や図式で説明する力を高める「協同的探究学習」 数学・社会
- 第2回(オンライン) 11月28日(土) テーマ未定 理科・英語・保健体育

本発表会では、「教科を越えて事象の本質を追究し、実践に生きる豊かな思考力を育む」ことをテーマに、本校が取り組む「協同的探究学習」を通して、生徒の思考がどのように広がり、深まっていくのかをご覧ください。仲間との対話や考えの比較を通して、一人ひとりが課題の本質に迫り、自らの考えをつくり直していく学びの姿を、授業実践を通して紹介します。

公開授業では、理科・音楽・国語・保健体育・地理総合に加え、STEAM-1、データサイエンス、アカデミックライティング、STEAM+、DEI サイエンスなど、本校の特色ある学びを公開します。特に、各教科における探究を生徒個人の課題探究へとつないでいく授業や、生徒がデータの分析や仲間との対話を生かして考察を深めていく過程にご注目ください。また、SSH プロジェクトポスター発表会やデータサイエンス作品展示では、生徒が自ら設定した課題に対し、どのように試行錯誤し、成果としてまとめてきたのかをご覧ください。

2026 年度 SSH 第 4 期 3 年次 文理融合基礎枠 「サイエンス・エージェンシー育成のためのカリキュラム開発と実践」

目標

自分で考案した事象を絶えず振り返りながら他者との共創を通し実現に向けて探究し続ける力を育成

協同的探究学習について

非定型問題に対する探究と他者との協同（共に学ぶこと）を通じて、生徒がそれぞれの考えやその関係性を分析し、本質を追究して豊かな思考（思考の広がりや深まり）を生み出す授業です。また、他者と話し合うことで、生徒が主体的に授業に関わり、お互いの考えを聞くことで仲間を認め合うことのできる授業です。本校では全ての科目において協同的探究学習を取り入れた授業づくりを行なっています。

特色のある授業について

【総合的な探究の時間】STEAM^{*}

「Science（科学）」、「Technology（技術）」、「Engineering（工学）」、「Art（芸術）」、「Mathematics（数学）」の頭文字を取った言葉で、文系・理系の枠を超えた科学的思考力や創造力を育成することを目的とした課題研究の教科です。本校では、高校 2 年生から高校 3 年生の 2 年間を通じて、生徒それぞれの興味に基づく領域から個人テーマに取り組みます。

【学校設定教科】データサイエンス（DS）

探究において、取り扱うデータに対して適切な統計分析を選択し、その結果を客観的に解釈し、説明する力を身につけます。自分たちが行った実験や実測データの分析に基づき、因果関係を明確にし、根拠を示す考察力を育成することを目指します。本日は、分析方法の原理を学び日常的なデータをもとに探究を行うことを目的とする DS 前期の授業より「質的データの分析（人数分布に関するカイ 2 乗検定）」について公開いたします。

【総合的な探究の時間】アカデミックライティング（AW）

地歴公民・国語の教員 2 名と大学教員によるティームティーチング（以下 TT）。1 クラスを 3 つのグループ（各 13 名程度）に分けて少人数で実施しています。生徒はローテーションで 3 講座を受講します。「哲学対話」（担当：地歴公民科）では、公共の内容を基に、倫理観の育成を行います。「研究基礎」（担当：大学教員）では、「研究」とは何かについて具体的に考えています。「論理的思考力の育成」（担当：国語科）では、小論文の書き方を学び、論理的な文章について考えます。本日は、「論理的思考力の育成」より、「論証の方法、説得力のある『理由』の検討」について公開します。

【学校設定教科】DEI サイエンス

Diversity（多様性）、Equity（公平性）、Inclusion（包括性）の精神を大切に科学的視点で探究活動を行う授業で、受験勉強に縛られない題材を扱うことが可能です。日常の小さな疑問をきっかけとし、探究するためにどのような手立てがあるか全員で協力して考え、授業内容を決めていきます。また、そのような試行錯誤を繰り返す中で論理的な考え方の重要性を再発見することを目的としています。テーマについて、本年度は「高さのあるパンケーキを作る」です。なお、昨年度は「髪の毛がブリーチ毛になるしくみは？」でした。

タイムスケジュール			
9：10～ 9：40	全体会	1	SSH 概要について、協同的探究学習について
9：45～10：25		2	東京大学大学院教育学研究科教授 藤村宣之先生 講演Ⅰ 思考の多様性を生かし、本質に向かう学びとは ー 協同的探究学習を通じた思考の深まり ー
10：40～11：30	第1部	1	公開授業（協同的探究学習）
教科	学年	担当	
音楽	中1	駒田純子	
理科	中1	斉藤瞳	
STEAM-1 （総合的な学習の時間）	中2	瀬古淳祐 アプリディマシヤール 曾我雄司 コツェウア桂乃良	
国語	中3	今村敦司	
保健体育(保健)	中3	神道朔人	
データサイエンス	高1	都丸希和・佐藤健太	
地理総合	高1	佐藤俊樹	
アカデミックライティング	高1	鶴口夏菜	
11：45～12：35	第1部	2	授業検討会
12：35～13：40	昼食	（13：00～13：30） SSH プロジェクトポスター発表会 データサイエンス作品展示	
13：40～15：00	第2部	1	公開授業（協同的探究学習）
教科	学年	担当	
STEAM [*] 13:40～15:00（80分）	高2・3	佐光美穂 棚橋美加子 沼口奈緒 亀井千恵子 曾我雄司 隅田久文 都丸希和 大羽徹 松下敏法 浅井照正 西川陽子 鈴木善晴 齋藤沙都 駒田純子 佐藤健太 東倫花	
DEI サイエンス 13:40～14:30（50分）	高校3	若山晃治	
15：10～15：50	第2部	2	授業検討会
16：00～16：30	全体会	東京大学大学院教育学研究科教授 藤村宣之先生 講演Ⅱ 本日の公開授業にみられる学びの深まり	
16：30～16：40	全体会	閉会	

講師紹介	
東京大学大学院教育学研究科教授 藤村宣之先生	
京都大学大学院教育学研究科において博士（教育学）を取得。名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授などを 経て現職。専門は、教育心理学、発達心理学。カーネギーメロン大学（アメリカ合衆国）客員研究員、日本学術会 議連携会員などを務めてきている。	
著書	『「わかる」はどう深まるかー子どもの思考の発達と協同的探究学習ー』 (単著、ちとせプレス、2025年) 『協同的探究学習で育む「わかる学力」ー豊かな学びと育ちを支えるためにー』 (藤村宣之・橘春菜・名古屋大学教育学部附属中・高等学校編著、ミネルヴァ書房、2018年) 『数学的・科学的リテラシーの心理学ー子どもの学力はどう高まるかー』 (単著、有斐閣、2012年) 『協同と探究で「学び」が変わるー個別的・ドリルの学習だけでは育たない力ー』 (分担執筆、名古屋大学教育学部附属中・高等学校編著、学事出版、2013年) 『発達心理学ー周りの世界とかかわりながら人はいかに育つかー（第2版）』 (編著、ミネルヴァ書房、2019年) 『新しい時代の教育方法（第3版）』（共著、有斐閣、2024年) 『国際的に見る教育のイノベーションー日本の学校の未来を俯瞰するー』 (共著、勁草書房、2023年) . 他多数